

防犯診断チェックシート

防犯診断
実施者

防犯診断
実施日

年 月 日 午前・午後 時 分

防犯診断
実施場所

【出入口（玄関／勝手口など）】

- 玄関ドアは「ツーロック」になっている。
- 防犯性能の高いカギ（ドア）を取り付けている。
- 風除室の扉は施錠可能なものであり、不在時等には施錠されている。
- ゴミ捨てなど短時間の外出でもカギをかけている。
- 在宅時でも確実にカギをかけている。
- カギを出入口付近に隠していない。
- モニター付きのインターホンを設置している。

【窓】

- 防犯ガラスを使ったり、防犯フィルムを貼っている。
- 面格子をつけている。
- 窓枠に補助錠をつけている。
- 窓に防犯ブザーをつけている。

【屋外】

- 家の周囲に2階や屋根への足場となるような物を置いていない。
- 道路から建物の見通しがよい。
- 防犯カメラ、センサーライト等防犯機器を設置している。

【その他】

- 自宅付近で、見慣れない人や車がうろついているのを見かけた。
- 自宅付近で、見慣れない車が長時間駐車していた。
- 「アンケート調査」、「訪問販売」などと称して、家族構成等の情報を聞かれた。

※ 赤字にチェックは危険

メモ欄

【外周】

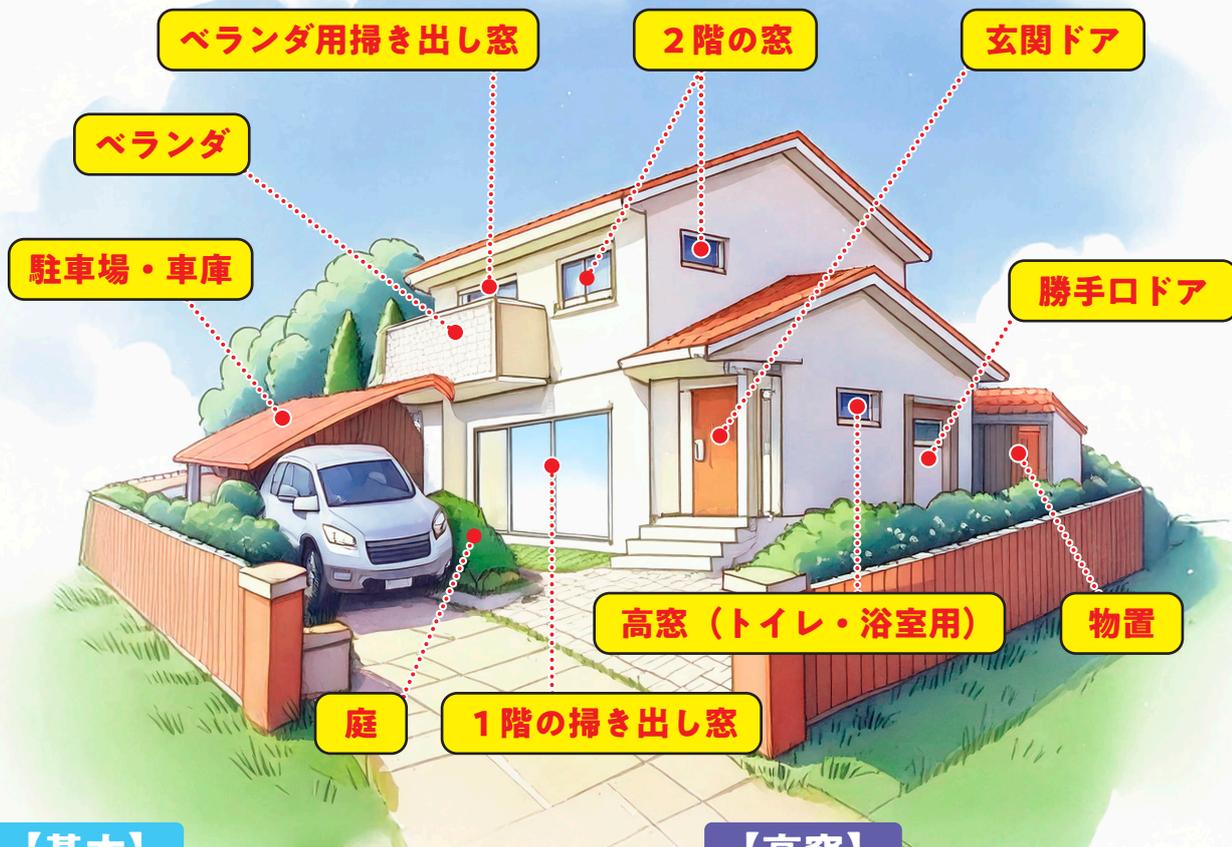
2階に侵入されないように、家の周りには足場となるような物は置かないようにしましょう。

また、防犯カメラやセンサーライトを設置するなど、侵入されにくい環境にしましょう。

【2階】

2階だから大丈夫との油断は禁物です。2階の窓も1階と同じように防犯対策を講じましょう。

また、ベランダの手すりは道路からの見通しを確保するため、柵状のものを活用しましょう。



【基本】

住宅の防犯対策は、まずカギをかけることが一番重要ですが、隣近所とのコミュニケーションを図るなど、地域全体で犯罪者を寄せ付けない意識を持つことも重要となります。

【玄関】

玄関は、一番侵入されやすい場所です。玄関ドアは「ツーロック」とし、カギはCPマークの付いた防犯性能の高い製品を活用しましょう。

ドアのデッドボルト(かんぬき)を隠すガードプレートの活用も有効です。

※ CPマークとは、防犯性能の高い建物部品に付与されるマーク

【高窓】

トイレや浴室などの高窓は、外部から簡単に接近できないようにしましょう。

また、頑丈な面格子を取り付けることで侵入に時間を掛けさせることができますが、2階への足場とならないようにしましょう。

周囲からの死角となる場合は、センサーライトや防犯砂利を活用しましょう。

【庭】

塀、植木などの植栽により、窓が死角とならないようにし、どうしても死角となる場所には、センサーライトを設置しましょう。

また、防犯ガラスを活用し、サッシの内側には補助錠を付けるなど侵入に時間がかかるようにしましょう。

勝手口は玄関に比べて死角になりやすいので、防犯性能の高いドアに交換しましょう。